

令和8年度 第1回三条市こども未来委員会会議録	
日 時	令和8年6月3日(水)午後1時30分～3時12分
場 所	三条市役所栄庁舎3階 大会議室
出席者	<p>出席委員：真壁委員、古川委員、小野塚委員、村田委員、伊藤委員、近藤委員、宮島委員、栗山委員、土田委員、規矩智委員、金子委員、本間委員</p> <p>欠席委員：遠間委員、今井委員、山崎委員</p> <p>事務局：平岡教育部長、小林子育て支援課長、川俣課長補佐、相場子ども家庭サポートセンター長、樋口総合支援係長、飯田主査、石坂主査、知野幼児・児童係長、田口子育て支援係長、石田主任</p> <p>傍聴者：なし</p> <p>報道機関：株式会社三條新聞社、新潟日報社</p>
委 員 会 内 容	
	<p>【次第】</p> <p>1 開 会 午後1時30分開会</p> <p>2 挨拶 平岡教育部長が挨拶</p> <p>3 委員及び事務局紹介 名簿に従い出席委員及び事務局が挨拶</p> <p>4 議 事</p> <p>(1) 委員長及び副委員長の選任について 委員長に真壁委員、副委員長に古川委員を選出</p> <p>(2) 令和7年度子ども・子育て支援推進状況報告書(「すまいる子ども・若者プラン」進捗状況)、令和8年度子ども・子育て支援推進取組計画書について (川俣補佐) 「第3期すまいる子ども・若者プラン」の概要について、冊子に基づき説明 (小林課長) 令和7年度子ども・子育て支援推進状況報告書(「すまいる子ども・若者プラン」進捗状況)、令和8年度子ども・子育て支援推進取組計画書について(施策区分I「子どもの健やかな成育への支援」)説明</p> <p>【質疑】</p> <p>宮島委員 資料2ページ、危険な遊具とはどのような遊具か。 また、撤去した場合、新しい遊具の設置となると思うが、安全な遊具が必要。危険な遊具(遊動円木、ブランコ)は不要だと思う。</p> <p>小林課長 専門業者による点検で経年劣化や不具合があるものなど危険と判断されたもの。新しい遊具設置の提案については、担当課である建設課に伝える。</p> <p>宮島委員 資料12ページの成果・効果指標について、実績が未達成だったものについて、目標が高すぎるものは下方修正していくことはあるか。修正しな</p>

小林課長	<p>いと未達成が続くのではないか。</p> <p>プランを策定した令和6年度の現状の数値をもとに、令和7年度の目標値を定めている。指標の目標値や指標そのものについて、時代の流れによって変更する必要があるものは見直すが、プラン初年度のため、現時点での見直しは考えていない。</p>
金子委員	<p>不登校児童・生徒の数に見合った適応指導教室、フリースクールの定員はあるのか。</p>
小林課長	<p>不登校児童・生徒には、まず、学校に来てほしいということで令和7年度に全ての三条市立学校に校内教育支援センターを設置した。</p> <p>また、栄地区と下田地区にそれぞれふれあいルーム分室を開室した。今のところ利用したい生徒・児童が利用できないということはない。どのような場があると良いか、担当の学校教育課と検討する。</p> <p>(小林課長)</p> <p>令和7年度子ども・子育て支援推進状況報告書(「すまいる子ども・若者プラン」進捗状況)、令和8年度子ども・子育て支援推進取組計画書について(施策区分Ⅱ「子育て当事者への支援」)説明</p>
村田委員	<p>【質疑】</p> <p>保育士不足が常態化している。4月に開設した児童発達支援センターは頼もしく、(川通どれみこども)園に来て職員研修をしてもらった。ただ、支援をするにも人手が必要である。こども誰でも通園制度の実施においても、職員の確保が必要かと思う。</p> <p>資料23ページ、保育士サークルから保育士として当該年度に現場復帰又は就職した実人数の指標を2人としているが、これで足りるのか。市としてさまざまな職員を募集し、公立だけではなく私立の保育園にも職員を紹介してもらえるとありがたい。</p>
小林課長	<p>特性をもった子も増えており、支援の中核となる児童発達支援センターを4月に設置し、活動してもらっている。</p> <p>保育士サークルから保育士として当該年度に現場復帰又は就職した実人数の目標2人が適切かについては、保育園等から保育士が不足しているという声は近年聞いておらず、足りていると感じている。研修も実施しており、公立に限らず、困る声があれば聞かせてもらいたい。</p>
村田委員	<p>公立だけではなく私立園に対しても、保育士を紹介してほしい。</p>
小林課長	<p>年6回行われている保育士サークルの講座で紹介させてもらう。</p>
土田委員	<p>資料に、SNSで情報発信をしたと記載してあるが、SNSを知らない保護者も多いと感じている。どのようなSNSを活用し、どのように、どこをタ</p>

<p>小林課長</p>	<p>ーゲットとして周知しているのか。</p> <p>市としては Instagram、LINE、X を活用している。子育て支援センター等でアンケートをとった際に、Instagram、LINE、TikTok から情報を得ている人が多かった。</p> <p>加えて、保育所アプリ、学校アプリを導入しており、アプリでの発信も行っている。発信する内容に応じて媒体を変え、必要な情報を必要な方に届けるようにしている。また SNS だけではなく、広報や市長記者会見を通じて報道機関に報道してもらうなどの情報発信にも努めている。</p>
<p>宮島委員</p>	<p>資料 35 ページ、高校生等奨学金について、中学校への周知は行っているか。</p>
<p>平岡部長</p>	<p>極めて限られた方を対象としており、全体に対してお知らせするだけでなく、様々な手当等を受ける際に周知を行っている。特に昨年度は徹底して周知に努めた。</p> <p>(小林課長)</p> <p>令和 7 年度子ども・子育て支援推進状況報告書(「すまいる子ども・若者プラン」進捗状況)、令和 8 年度子ども・子育て支援推進取組計画書について(施策区分Ⅲ「家庭、地域の意識の醸成」、全体まとめ)説明</p> <p>【質疑】</p>
<p>本間委員</p>	<p>資料の施策区分 I についてになるが、中学校の部活動の地域移行について、保護者に十分に伝わっていない。現場の教員、生徒も分かっていない。生徒、保護者はとても不安に思っている。分かりやすい情報を随時流してもらえるとありがたい。説明会があったが、2 時間という時間では、忙しい子育ての中で見るのが難しかった。長時間の説明ではなく、分かりやすく端的に伝えてもらいたい。</p> <p>地域移行というのは、地域のスポーツクラブに入って活動するようであるが、地域のスポーツクラブはハードルが高い印象がある。強くなりたい子が入るところというイメージが強い。一方、中学校の部活動は、スポーツを体験する場としての役割を果たしている。体験の場が失われないように、ハードルを下げ、初心者でも参加しやすい環境づくりを進めることが必要だと思う。</p>
<p>平岡部長</p>	<p>部活動の地域展開、地域移行とは、時代の移り変わりの中で、専門的に教えらる先生が確保できないなどの要因から、地域クラブで体験の場を作りましょうというもので、全国一斉に進めているもの。三条市では令和 5 年度から令和 7 年度の 3 年間で休日の地域クラブ活動を開始した。今後、平日の地域クラブ活動についても検討を進めていく予定である。</p> <p>長年培ってきた部活動の風土の大転換であり、保護者、生徒から十分に理解いただく必要があるという点においては、周知と説明が追いついておらず強く反省しており、お詫びしたいと思う。説明会だけに限らず、様々</p>

	<p>な方法で周知を図っていきたいと考えている。</p> <p>認定する地域クラブは、部活動の趣旨を理解してもらい展開していく。初めてスポーツに関わりたい、やってみたい子が気兼ねなく入れる場を設けたいと考えている。</p>
宮島委員	文化系の部活動はどうか。
平岡部長	休日に活動している吹奏楽部について、地域移行を進めてきた。他の文化部についても、生涯学習部門と検討を進めている。
規矩智委員	不登校児童・生徒への支援について、資料 17 ページの実績に掲載されている数値は意識の高い親御さんのお子さんの分だけであると感じる。それ以外の親御さんやそのお子さんの支援をどのように行っていくかが課題であると感じる。
小林課長	切れ目のない支援が大事である。必要な支援が届いてない子どもについても、教育委員会をあげて、しっかりと対応していこうと思う。
真壁委員長	本件承認することによろしいか。
	(異議なし)
真壁委員長	5 その他 事務局からその他として何かあれば願いたい。
小林課長	<p>頂戴した意見は、来年度の施策の検討を進めていく中でぜひ参考にさせていただきます。</p> <p>今後の会議の開催についてであるが、12月頃開催し、来年度の施策についてご意見を頂戴したい。日程については、委員長と相談し後日案内させていただきます。</p>
	(午後 3 時 12 分閉会)